

令和3年度 事業報告書

1. 講座事業

(1) 春秋記念講座

◆秋季特別講座（第141回）

総合テーマ：「湯島聖堂と懷徳堂」（参加者数：61名）

・新型コロナウイルスの影響もあり、春季講座（第141回）と秋季講座（第142回）を1本にまとめ、「懷徳堂」をテーマとした特別企画とした。

・Zoomにて事前収録したものを、期間限定で受講料入金者のみに配信した。

・配信期間：令和3年11月1日（月）10時～11月15日（月）17時

◇講演（各講演約1時間）

「湯島聖堂と漢学の近世近代」町泉寿郎先生（二松学舎大学教授）

「大阪文化の力—懷徳堂の歴史と意義—」湯浅邦弘先生（大阪大学教授）

◇対談（約30分）

「湯島聖堂と懷徳堂」町泉寿郎・湯浅邦弘

(2) 古典講座（参加者数延べ：413名）

◆コース（A～C：全3コース）

・全コースZoomによるオンライン開催。

・1コース8回（前期4月～7月、後期9月～12月）、講義時間は1回60分。

・AコースおよびBコースはリレー講座。

コース	コース名 ・ 講師名	回数・時間・年数
A	『日本書紀』を読む 市大樹先生（大阪大学大学院文学研究科教授） 上田直弥先生（大阪大学埋蔵文化財調査室助教） 高橋照彦先生（大阪大学大学院文学研究科教授） 若井敏明先生（関西大学等非常勤講師）	全期8回 18：00～19：00 1年目
B	中国古典の精華を読む 草野友子先生（立命館大学プロジェクト研究員） 中村未来先生（福岡大学専任講師） 浅見洋二先生（大阪大学大学院文学研究科教授） 佐藤由隆先生（懷徳堂研究センター教務補佐員）	全期8回 13：30～14：30 1年目
C	『平家物語』の名場面を能で読む 中尾薫先生（大阪大学大学院文学研究科准教授）	全期8回 10：30～11：30 1年目

(3) 法人講座（第5回）…令和3年度実施せず

(4) アーカイブ講座（第16回）・・・新型コロナウイルス感染症防止のため実施せず。

2. 刊行事業

(1) 雑誌『懷徳』90号（2022年1月31日）刊行

(2) 会報「記念会だより」No. 118(2021年4月) No. 119(2021年9月) No. 120(2022年2月)刊行

(3) 『加地伸行文庫目録』刊行

3. 調査事業

- (1) 西村天囚関係資料の調査・・・例年実施している現地調査は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から中止。先に寄託を受けた資料に関して調査を行う。
- (2) 懐徳堂文庫貴重資料の大阪府文化財指定に向けての資料調査・・・現在、中断中。
- (3) 加地伸行大阪大学名誉教授寄贈図書目録作成のための資料調査・・・『加地伸行文庫目録』完成。

4. 広報事業

- (1) 法人会員向けメールマガジンNo.31 (2021年4月)、No.32 (2021年9月)、No.33 (2022年3月) 発信
- (2) ホームページの更新 (随時)
- (3) ツイッターの発信 (随時)

5. 研究助成事業 (第32回)

令和3年6月4日(金) 募集締切、7月21日(水) 事業計画検討委員会(メール会議)にて決定(1名 総額5万円)
研究事業名: 「中井履軒の歴史論—王朝交代の原理—」
氏名・所属: 黒田秀教 (明石工業高等専門学校助教)

6. 懐徳忌 (第37回)・・・新型コロナウイルス感染症防止のため実施せず。

7. その他

- 【講師派遣事業】…令和3年度実施せず
- 【共催事業】…令和3年度実施せず

以上

※以上事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。